

# 平成28年度 第2回地域家庭教育推進南会津ブロック会議 実施報告書

(南会津) 教育事務所

<b>1</b>	<b>実施期日</b>	平成28年12月9日(金)	時間：13時00分～16時30分
<b>2</b>	<b>会場</b>	南会津町御蔵入交流館多目的ホール	
<b>3</b>	<b>出席者数</b>	総出席者数 計 20名 (男性9名 女性11名)	
<p>(内訳) 家庭教育支援南会津の会会長(民間団体)、松沢区長、絆づくりの会会員(民間団体)、下郷町学校支援員、只見町教委生涯学習班担当者、只見町社会教育委員、保育所所長、地域子育てサポートチーム、下郷町教委社会教育担当者、南会津町教委生涯学習担当者、檜枝岐村教委担当者、フォローアップ研修講師(麻乃じゅん氏)</p> <p>福島県教育庁社会教育課(高原 昇)、南会津教育事務所(次長兼社会教育課長、主任社会教育主事、社会教育主事兼指導主事)</p>			
<b>4</b>	<b>会議概要</b>	<p>(1) 講演 ※フォローアップ研修を兼ねる</p> <p>(2) 社会教育事業(家庭教育)についての報告</p> <p>(3) 「家庭教育支援に関する提案書」についての協議</p> <p>(4) 来年度の家庭教育支援のテーマについての協議</p> <p>(5) その他</p>	
<b>5</b>	<b>内容</b>	進行：社会教育主事兼指導主事 猪股 克亘	
<b>&lt;開会式&gt;</b>			
(1) 開会			
(2) 主催者あいさつ		福島県教育庁南会津教育事務所 所長 渡辺 惣吾	
(3) 諸連絡			
<b>&lt;講演&gt;</b>			
(1) 講師紹介		次長兼総務社会教育課長 佐々木孝一	
(2) 講演			
<p>演 題 「子どもの将来は“幼少期の食”で決まる ～『真の幸せ』とは何か～」</p> <p>講 師 Jフードハーモニー 代表 麻乃 じゅん 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康のための「食」とは？ 食習慣→その瞬間だけではない 生涯にわたって影響する</li> <li>・ 「袋の味」ではなく、「お袋の味」が大切な理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 体：栄養 脳の成長 疾病 体力 味覚</li> <li>② 心：愛情 心の成長 社会性 豊かさ</li> </ul> </li> <li>・ 子どもの心の成長と食の関係 「袋の味」がもたらす「5つの“こ食”」+1 孤食 個食 固食 小食 粉食 + 濃食</li> <li>・ 親の務め 子どもの幸せを願うなら まず、すべきことは？</li> <li>・ 今日からどうする？ <ul style="list-style-type: none"> <li>① まずは、知ることから</li> <li>② 今の食生活から、少しでも良い食事を目指してみる</li> <li>③ 料理をする機会を増やす(親だけでなく、子どもにも)</li> <li>④ 和食、地元の物を中心に</li> </ul> </li> </ul>			
(3) 質疑応答			
(4) 御礼の言葉		主任社会教育主事 渡部 学	



## <報告・協議>

- (1) 社会教育事業（家庭教育）について
  - ① ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業
  - ② 親子の学び応援講座
  - ③ 就学時健診時における家庭教育講話
  - ④ 家庭教育応援企業
- (2) 「家庭教育支援に関する提言書」について
  - ① 提言書についての意見交換・協議
- (3) 来年度の家庭教育支援のテーマについて
  - ① メディアコントロール
  - ② 地域教育力の向上 他
- (4) その他
- (5) 諸連絡
  - ① 来年度ブロック会議委員の推薦について
  - ② その他



## <閉会式>

- (1) 本庁担当者より 福島県教育庁社会教育課社会教育主事 高原 昇
- (2) 御礼 次長兼総務社会教育課長 佐々木孝一
- (3) 閉会



## 6 成果・課題

- (1) 成果
  - フォローアップ研修は、域内の課題の1つである「食育」についての講演会を実施し、ブロック会議委員の食育について理解を深めることができた。
  - ブロック会議委員に家庭教育関連事業の実施状況を説明し、成果と課題について報告をすることができた。
  - 就学時健診時の家庭教育講話は、学校からとても評判が良いので、来年度も継続するようお願いすることができた。
  - 域内の課題である「メディアコントロール」「読書離れ」「食育」について、協議をすることにより「提言書」という形にまとめることができた。
  - 次年度の重点テーマについても意見をいただくことができたことはとても良かった。  
次年度のテーマ(案)  
「メディアコントロール、地域教育力の向上 他」
- (2) 課題
  - ブロック会議委員は3年間ほとんど同じメンバーだったので、話し合いがとてもスムーズにできた。ただ、新しいメンバーを加えたり、メンバーを変更したりすることによって新たな視点から意見を出してもらえることもあるので、来年度の委員についてさらに検討したい。
  - フォローアップ研修とブロック会議委員に配布する資料を別に作成したので、受付で配布する際に時間がかかってしまった。